

**職域総合部会 個別委員会
女性獣医師支援対策検討委員会報告の概要**

- 1 報告書名：獣医師の働き方改革の推進
—女性獣医師活躍推進のために—
- 2 検討の経過：3回（平成29年12月19日・平成30年7月9日・令和元年5月17日）

3 報告の概要：

(1) 内容

これまでの委員会の報告書で提案された対策について議論を重ね、農林水産省補助事業「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」を活用し可能な限り対策を進めた。取り組んだ対策等について、①女性獣医師の活躍推進のための理解醸成、②仕事を続けやすい環境づくり、③復職しやすい環境づくり、④情報プラットフォームの充実及び⑤平成29年の提案、加えて、女性獣医師の獣医師会加入推進につなげたい新たな提案を取りまとめた。

(2) 新たな提案

2回のシンポジウム、地方獣医師会へのアンケート調査結果等から、女性獣医師の活躍推進のため、3つの提案をする。

ア 2030年目標の設定

これまでの目標「現在女性役員がいない地方獣医師会は1名は女性にすることを、既に女性役員がいる地方獣医師会は複数名にすることを、2020年頃を目途にめざす」に加え、「2030年までに、獣医師会の女性役員を30%以上に、女性の獣医師会加入率を男性と同じにすることをめざす」という新たな目標を設定する。

イ ロゴ等の活用

獣医師としての社会的な使命の自覚・誇りを共有し、加入促進につなげることを期待して、日獣ロゴの名刺への印刷、日獣バッジ（エンジ）の着用を試みる。

ウ 地方獣医師会の定期アンケート

優良事例等を紹介、地方獣医師会における具体的な取組みを推進するため、令和元年度からは日本獣医師会が毎年実施している地方獣医師会への定期調査の1つとして継続的に依頼し、結果を公表していく。

(3) おわりに

平成25年に最初の委員会が設置されて6年。「女性獣医師だけに着目するのではなく、すべての獣医師が活躍しやすい環境づくりをめざそう」「女性獣医師が働きやすい環境はすべての獣医師が働きやすい環境である」というコンセプトはそのまま引き継がれ、27年の報告書で獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために必要とされた対策は、獣医師全体の働き方改革につながるものであった。

最初の報告書から必要性が強く指摘されてきた代替獣医師の確保のための人材バンクや多様な働き方を認め合うためのマッチングの仕組みの構築は、獣医師会への加入推進のために必要な対策とともに、日本獣医師会全体の重要な課題としてとらえ、できるところからでも早急に取り組むを進めることが強く望まれる。

今後、残された取り組むべき課題については、大学、地方獣医師会、その他の団体、各職域、職場等から、広く、積極的にご意見、ご提案をいただきつつ、日本獣医師会として地道な取組みを続けることが重要であると考えます。

あわせて、大学、地方獣医師会、その他の団体、各職域、職場等において、女性獣医師応援ポータルサイトの情報も活用して、取組みを進めていただくことをお願いしたい。